



長島町長  
川添 健

# 夢の実現に向けて 新たな一歩を

特産を活用したイベントが揃いました。

また、今年は二年に一回開催される「ながしま造形美術展」の開催年であります。私は、まちづくりの基本は造形美術展にあると信じています。ひとりの力ではできなくても、地域住民が協力して造り上げていくことにより、地域の融和づくり、そしてまちづくりにつながっていきます。

そのほか、夢と活力に満ちたまちづくりを展開していくために、重要な生活基盤であります道路整備をはじめ、漁港、港湾、耕地などの社会資本の整備、第六次産業の育成推進など長島町総合振興計画「フル・デュール・プラン」の、各種施策を着実に推進してまいります。

本年も、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまのご健勝とご活躍を、心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

るための「夢追い獅子島架橋基金」をスタートいたしました。30年、30億円の基金ではありますが、少しでも時間短縮に向け、住民一丸となつて努力する必要があると考えます。

福祉につきましては、4月に地域密着型の特別養護老人ホームを川床に開設いたしました。施設介護の充実を図ることができました。さらに、

長い間休診しておりました川床診療所も、週三日ではあります。診察を再開いたしました。これにより安心できる医療体制が整ったと思えます。

長島町の文化の拠点であります「文化ホール」につきましても、現在、舞台設備など大規模な改修を実施しております。3月の完成後は、町民の芸術文化と生涯学習の拠点

いりました。

6月16日から17日にかけての大豪雨では、河川の氾濫などにより、多くの農地に甚大な被害が生じました。皆様には大変なご心配をお掛けしましたが、国や県のご協力により、今年の作付には間に合うよう復旧工事を急いでおります。

赤潮からの再生が期待された養殖ブリにつきましても、価格面での低迷が続いておりますが、価格補償制度の充実など要請してまいります。

このような厳しい情勢の中ではありませんが、夢のある地域づくりとして、獅子島島民800人はもちろん、長島町の悲願であります獅子島架橋の実現に向け、一歩でも前進す

新年あけましておめでと

ございます。皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、長島町行政推進に対し、深いご理解とご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、日本経済も長引く不況が続く中、企業経営の悪化を来しており、長島町における企業誘致も困難な状況であります。

このような中、一番の強みである農業、漁業の振興をさらに図っていく必要があります。昨年春の霜害対策として、バレイショでいち早く廃ポリ処理費や寒さに強い栄養剤購入費の助成、税金などの軽減も図り、万全を期してま